

地域交通DXの取り組み

吉野川タクシー株式会社

株式会社電脳交通

一般社団法人X Taxi

近藤 洋祐

地域交通領域での取り組みでの気づき



YOSHINOOGAWA
EST. TAXI 1970
TOKUSHIMA, JAPAN

吉野川タクシー有限会社

- 2010年入社、2015年にV字回復達成
- **成功要因は採用に成功したこと**
- 2015年時点で乗務員平均年齢40.3歳
- ウェブマーケ、SNS運用で採用強化
- ハローワークしっかり活用
- HV車導入で燃料コスト削減
- 年齢低下で事故率低減
- **配車コストは重たいのでBPO、または共同配車が最適**

地域タクシーの持続性



電脳交通

株式会社電脳交通

- 2015年に吉野川タクシー車庫で創業
- 無線機配車システム高すぎて買えない
- 消費者側でDX進むのに、事業者側のDXが進まないのは良くない
- SaaSで基幹システム提供すれば良い
- スマホ/タブレット活用で低価格実現
- **質の良い乗務員、車両で差別化でなく、デジタル戦略を各社が持つ時代**
- **法律上マルチデバイス化が難易度高い**

次世代のタクシーDXツール



X Taxi

一般社団法人X Taxi

- 2020年8月5日タクシーの日に創立
- 乗務員の育成、高品質車両の導入に加えデジタル領域の経営戦略を立てる時代
- 採用領域におけるセンターピンを探る採用PRなどの強化
- 間口の広がる資金調達環境など、経営リテラシーを上げる環境で学ぶ必要性
- **次世代の経営人材が業界へコミットする機会を積極的に生み出す必要性**

次世代の経営人材育成

各領域での取り組みで感じるペイン



YOSHINOOGAWA
EST. TAXI 1970
TOKUSHIMA, JAPAN

- 経営者が多すぎて合意形成を取るの
がとても大変
- 経営人材が少なすぎる、後継ぎ問題
- LPG給油所激減で、地方ではUDタク
シー導入率上がらない
- 採用難に陥る会社が多く稼働率低下



電脳交通

- 進まない事業者側のDX
- システム導入の意思決定が遅いのは、
コロナ禍で増えた有利子負債の返済の
影響で経営判断が難しい状況の為
- 稼働率が低下し全国的に配車できない
状況で、全国の経営者が乗車中



X-Taxi

- 自治体により業界支援のコミットに差が
経常利益に大きな影響が出ている
- 地方の保有台数50両以下の事業者は
Exitの方法を考える方が多い
- デマンド領域が話題だがマチュアでない
- 乗務員数を増やす方法論論が、
やや宗教論争になりつつある

次のステップへ進むには、
配車率 2021年78.3%、2022年74.8%の改善がキー

(株)電脳交通 自社調査